

平成28年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅再建される方にとっては、依然として生活は厳しいのではないかと思います。日常生活をする上での、回復は順調に進んでいるのではないのでしょうか。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	私の住んでいる村では、ほぼ高台移転先に移り住んだと思います。隣町では仮設住宅の取り壊しが進み、高台移転先の新築完成率も8割ほど完成したと思います。年度内には全ての移転先の区画に、新築の住宅が立ち並ぶのかと思うと、長い年月多くの方々が苦勞されたのかと思い、新たに胸が熱くなります。早く岩手県内の被災者の方々が、新居で生活出来る事を願っています。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台の移転地には災害公営住宅も完成し、多くの方々が引越しをされました。また新築をされる方々もほとんどの家で工事に着工しています。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	道路・居宅等かなり復旧が進み、震災前の水準まで回復している。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	100%回復したとはいえないが、新しい街づくりが着実に進んでいる。水産業、建設業など求人はあるが充足しない状態が続いている。被災した方々も、仕事を選ぶ「余裕」があるのではないかと。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災前の生活と変わらない水準になった。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅再建が進み、残りは2世帯。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	全戸住宅再建でき、にぎわいながら元気で生きていこうと楽しそうになって来ました。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転が進み生活感が出ている。子供達の通学風景が戻ってきている。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	家を流失した人達も再建し生活している。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住宅再建が進んで来た（復興住宅に移り、仮設の世帯数が減少）。自身も土地使用が4月より出来る様になり、目標とするものが見えた感じ（多少）
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	1. 自力再建の方々は殆ど再建している。 2. 防災集団移転関係では、やはり殆どの世帯が建築を着手しており、お盆前には再建完了の見込みである。 3. 残るは災害公営住宅が年度内に完成見込みであり、私の周辺は年度内に入居可能と思われます。 4. 雇用関係においてもプレハブでの営業ではあるが以前のように営業している。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	災害復興公営住宅や高台移転整備のおかげで、仮設住宅に入居している世帯数は激減している。この面で見れば、被災者の生活は回復していると思う。しかし、震災前のコミュニティは浸水地に於いて破壊されたままです。例えば、災害復興公営住宅は若い人が入居しづらい制度になっていて、必然的に高齢者世帯が多く入居しています。震災前とは地域の世代バランスが完全に違ってきています。このような中、自然と一人暮らしの高齢者が増えてしまう仕組みを構築しているとしか思えません。災害復興公営住宅の殆どが高齢者で、しかも一人暮らしが多い、となると大変な未来が待っているような気がします。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	ほぼすべての仮設住宅入居者が災害公営住宅もしくは住宅を新築し移転した。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設から公営住宅へと居住が大分変化して、安心が得られている環境になっていると感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	生活に関しては回復したと言って良い。ただ、高台移転によって人口が減少した地元には、店や郵便局が無くとも不便だ。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	5月には被災者の住宅再建が全て終わり、自宅での穏やかな生活が戻ってきた。移転地での新自治会も設立され、新たなコミュニティづくりに向けた活動が期待されるが、地域課題はこれから出てくると思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	・仮設に住んでいた知人が災害公営住宅に入居したり、家を建てて住んだりできるようになったため。 ・線路の工事が始まったため。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	○復興住宅やアパートが建ち、入居した知り合いや親戚の話を聞く機会が増えた。 △ただ、全員が仮設から出たわけではなく、将来の目途が立っていない方もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	復興住宅への入居が見られてきたこと。小中学校の仮設が多く、撤去や校庭の改修工事の進行が見られない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	51歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅も出来上がり、生活も改善してきているように感じます。 又、かさ上げされ、道路も復興して回復している感じがします。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住環境の再建の回復度は、被災者間で差がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・復興住宅の建設がさかんである。 ・かさ上げ後の状況がわかりにくい（法の脇）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅の再建が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自力再建や公営住宅等に入居された方が増えてきた。ただし、地域の経済力がまだまだ再建途上であるため、住宅ローンの支払いに不安があるように思える。他の職種の方々と情報交換をする機会があまりないが、地域の雇用条件が他地域に比較して低いため、若年層の他地域への流出が続いており、地元では慢性的な人材不足に陥っている。若年層が地元へ定着するための政策が急務と思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設住宅から出て、以前と変わらない生活を始めた方や、未だに仮設住宅に留まらなければならない方々とがあり複雑な思いがあります。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	土地の引渡し本格化しており、本年度中に約600区画、平成30年度に約600区画が引渡しになる。住宅地、商店等が再建されて来る。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	高台移転や土地の区画整備により住環境はほぼ整備されたと思う。雇用の創出は概ね回復していると思うが、被災地域の問題だけでなく一般的な社会問題として、人口減少、高齢化対策にも取り組む必要があると思われる。被災した地域が被災していない地域と比べて人口減少高齢化が速く進む可能性が高いと感じられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	公営住宅への入居が進んでいるので。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	防災集団移転地の造成工事が11月頃完了の見込み。移転者は住居の建築時期の目途がたってきた。しかし移転者の中には、建築費用がかなり増えることが見込まれ、そのやりくりで頭を痛めている人がいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅は6月中には完成するし、自力再建も着々と進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台への移転が始まり、住宅建築が進んでいるため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	災害復興住宅への転居、自主再建された方がほとんどになりました。港や市場の整備がまだ終わっていません。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の防潮堤工事が進んでいる。久慈市宇部町と野田村のほ場整備事業が進んでおり、今年から水稻の作付が出来るようになっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	造成工事が終わった所に住宅が多く完成して、所々に公営住宅も出来復興も進んでいると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	私の仮設住宅にお住いの住民の皆さんのほとんどが、公営住宅や自己再建されたご自宅に引越しをされ、遅い歩みではありますが、確実に前進していると思います。しかし、まだ予定すらたっていない住民もおりますので、何らかの支援をお願いしたいと考えております。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住宅を再建し仮設住宅を出た方、災害公営住宅に移った方などが、今年になってから多くなりました。私の居る仮設住宅に残っている世帯は15%程となり、年内には10%以下になると思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・カキ・ワカメ養殖漁家であり、インフラ関係（水産業）と生業とする加工場・漁船等は、全て復旧が終り本格的な生産活動が出来る状況になった。しかし他の漁家は、震災後生産時期に従来雇用していた労働者のほとんどがリタイアされ、労働力不足が深刻になった。 ・自分はまだ仮設住宅住まいで、自立再建の土地を検討中であるが、まだ見つかっていない。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害復旧復興担当者は、復旧復興を5年で成し遂げると目標を掲げ、平成28年6年目を迎えた。しかし、復旧復興の進捗状況は決して早いとはいえない。当該団地（関谷担い手仮設団地）は、当初80世帯178人でスタートした。その後、自宅新築や住宅購入などで自立復興なり移転。柳沢町営住宅の復旧に伴う移転などで転出世帯が増えたこと悦ばしいことである。現在、平成28年5月で計35世帯が転出され、また事情により当該団地への転入世帯を含めると、現在55世帯106人となった。高台移転などの土地造成が各地で進んでいるが、当該仮設団地住民対象の山田地区第3高台移転地の取得交渉が、かなり遅れている。平成30年度まで完成の見通しという。防潮堤や箱物の工事が目立ってはいるが、生活の基盤である住環境の確保が急務である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	織笠地区の町営災害公営住宅と県営災害公営住宅には、入居希望者はすべて入りました。空室もありますが、旧山田地区の災害公営住宅が、完成間近のようです。建設戸数が多いので、入居者は期待していると思います。織笠、船越、大沢地区の宅地造成が完成し、住宅の建築が始まっています。織笠地区は、高台・区画整理とも土地の引渡しは終わりました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	津波を恐れて早々に山手に再建した人達は多くいます。又、被災した土地を買い求めどんだ家が建ち大型スーパーも出来、町中心部でない山側に一つ町が出来ました。（元の土地は嵩上げが進まない為）そこに住む皆さんは、明るく元気で普通の生活に戻った様です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地も整備され、公営住宅・自立再建等が立ちならび、住民の皆様も安心して生活にはげんで見られる様になった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台に新しい住宅や集合住宅も建てられ、引越しも進んでいる様子が見られると同時に、仮設住宅はだいぶ空いてきた様に感じる。防潮堤等もだいぶ形となってきた様子である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	新築や公営住宅への入居等により、仮設住宅の閉鎖や統合が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	仕事をしていて、住所が仮設から新築の住宅、公営住宅に移った方を見る。高台に住宅がたくさんできていた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	・土木工事が進み、住み良い街へ向けて前進しているように見える ・生活は落ち着いているように見える一方、復興住宅へ転居した高齢者の方が、コミュニケーションがとれず、家から出ない事があるようです。サポートが必要と思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	住宅再建した世帯が、周囲に多く見られるようになった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	高台移転も進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地の造成も全て完成し、生活の拠点はかなり確保されたと思う。ただ、現在も仮設住宅で暮らしている方々の中には、今後の用途がはっきり立てれないでいるという事が心配されます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	中心街が浸水域だが、計画通り商店や宿泊施設などが建ち、にぎわいが見られてきたから。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	・まだ校庭に仮設がある。 ・高台に住宅を再建している人が増えた。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅も建って来ているが、入居するには家賃が高いため、生活するのが大変な方もいると思う。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	公営住宅の建設が進み、仮設で暮らす人は減ったが、未だ仮設で暮らしている人々もいる。それに伴い、震災から5年たった今でも学校に仮設があり、校庭で思うような（震災前のような）運動等はできていない学校がほとんどである。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅への入居や住宅の再建が進んでいる一方で、仮設住宅に住んでいる方もまだまだ多い。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	復興住宅や新しい住宅もどんどん建っているが、仮設住宅に住んでいる方もいるので、生活の回復の進み具合としては、どちらも言えないと思う。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	ワカメやコンブの収穫も始まり、自分の住む地域では生活が被災前に戻ったように見えるが、それは作業場や船を準備できた人だけであり、準備できなかった方々の暮らしが見えないので。
どちらも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	やや回復しつつあると思われるが、両極端な感じを受ける。未だに仮設住宅に暮らす人々と新築された方々、それぞれ事情を抱え、苦労されていると思うが…

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	住環境の面で、仮設住宅の解消、従来のコミュニティの回復、新しいつながりの維持など様々考えられますが、津波の被害の大きい地域への復興住宅の建設が気になっております。どのように計画が進行し、また入居希望者はいるのでしょうか？
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	何をもって復興なのか…改めて考えると答えができませんが、計画区域外の地区では、再建し新しい建物が多くみられている。道路の状況も、ここに来て整備状況が急速に進んでいる様に思えるが、住民の方々の気持ちとしては状況の緩急についていけず、流れに身を任せる思いになってきている様に思う。特に、仮設団地に居住されている高齢者は新たな場所での生活等に強く不安を感じられている方々は多い様に思われる。アンケート等の内容も次の段階に応じた内容のアンケートでもよいと思います。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・災害復興住宅や個人住宅の建設が進んでおり、町並みに明らかな変化があるが、周辺整理の遅れを感じる。 ・賃貸住宅の家賃や住宅取得費の高騰により、人口流入に支障が出ている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	今年の4月から大槌町に居住しており、これまでの回復状況が分からない。盛岡市から転居してきたが、率直な感想は「思ったより復興は進んでいない」である。最近、自宅を再建する方が増えてきており、これからだなと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅も完成し、仮設住宅から移転している。集合住宅も整地されて、住宅も建ちはじめている。仮設住宅の空室が結構あると聞いているが、依然として学校校庭の使用ができない状況である。子供達の成長も考慮してほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	被災前と比べ、回復したと実感できるまでいっていない。雇用に関して言えば、求人状況は復興需要が一段落した感があり、不安感が出始めている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興事業（区画整理、防集高台移転）は、計画より6ヶ月程度遅れている状況で、また被災者半数の方が生活再建できていない状況。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	移転先の区画が整備され、家が建ってきているが、これから先の生活・金銭面で悩む話を聞く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の造成は完成しているようだが、住宅再建はまだ先のようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	生活は自宅の再建が進んできているので、仮設からの転居で前に進んでいるが、それにとまってローンが組まれるので暮らしは個人によってさまざままだと思う。仕事も落ち着いてきていると思うが、復興工事関連での土木作業等も2年前から比べると少なく収入も減っていると思うし、人も減っている。本来の姿に戻りつつあるのかもしれない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	新築住宅の完成、仮設店舗から本設店舗へと前向きなニュースは聞こえてくるが、震災以前からの課題である人口減や、それに伴う産業の衰退は根本的な解決に至っていないと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	現役世代とそうでない世代では、収入の安定度等色々個人で事情が違うと思うので、何とも言えないが、震災前と全く違う職種に就いた方も多く、元々の事業所会社が完全復旧・復興し、元々の社員、作業員が復職したという訳ではないと思う。新しい形の雇用へいち早くなじんでいくには、もう少し時間が掛かると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	田老地区においては、28年3月までに111世帯分の災害公営住宅が完成し、被災者の入居も完了した。また、高台に造成した住宅地（三王団地）161区画には、昨年11月以降、住宅の自力再建が始まり、新築の住宅に順次移転が始まり、日を追うごとにその数が増している。このように住まいの確保や自力再建が進む中で、宮古市の応急仮設住宅の集約や入居期限の時期までに住まいの確保が出来ない世帯が発生しないことを願わずにはられない。現在入居している宮古市の「グリーンピア三陸みやこ仮設住宅2」は、入居当初の世帯数は全部で37世帯であったが6月18日現在4世帯まで減少した。幸い4世帯共、三王団地に住宅を自力再建する予定で工事を発注しており、その完成を待っているところである。一方「グリーンピア三陸みやこ仮設住宅団地」には、未だ150世帯以上の被災者が入居を続けており、合わせて、仮設共同店舗での営業を続けている事業者は、これから本設店舗の建設に向うところであり、「やや回復した」とは感じられない状況である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	周囲は人それぞれですので、どちらとも言えません。家を建てた方も、買った方もいますが、まだ仮設で住んでいる人々も多くいます。帰ろうとしている場所（町）が、まだ土盛りの最中で道路も仮設です。まだまだ帰れそうにない人もいます。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の宅地造成は進みつつある。土盛り・土盛り無の宅地造成も進んできた。生活の為の仕事はあり、選ばなければ職はあると思うので、とりあえずは生活に困る人はいない様に見える。ただ、復興の為の仕事も多く、この先引き続き仕事があるとも思えない。仮設に住んでいる限りは家賃もないが、公営住宅に入居する人は、特に国民年金受給者は生活に困る人が増えそうに思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅・公的機関等の建造物が完成し、仮設から本設へと回復の兆しは顕著であります。震災前の中心市街地の回復は残念ながら無理で、計画の見直しが必要と思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・職場での人間関係に苦労して、仕事を変えたいと思っている人がいた。でも毎日定時に自宅を出発しているので、頑張っていると思う。 ・シルバー人材センターでの仕事が少なくなり、自宅に居る日が多くなった人がいる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	ここ6ヶ月で高台移転であったり、公営住宅への入居等だいぶ進んできたと思えます。仮設の空室もかなり目立ってきている状況です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	多くの復興住宅が着工しました。早期の完成を願いますが、場所により空室のある復興住宅もあるため不安もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	復興住宅に入ってから、近所の人と交流がないとか、住宅が建設された自治会の人達は、どうやって地域になじんでもらおうか考えているという状況が続いている気がする。新たなコミュニティ作りが課題とを感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	公営住宅等への移転・転居が進み、一見回復しているように見えるが、近所づきあい、高齢者のみの世帯等コミュニティの構築がまだまだ必要と感じる。震災から5年で、被災者の心も体も変わってきていると思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	雇用は回復したと思うが、住宅の再建はまだまだ先。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住環境だけ見ますと高台と嵩上げの方が、平成31年3月末の完成予定になっていますので進んでいません。高台は見る事が出来ませんので、嵩上げ部は何カ月も進んでいませんね。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台団地の造成工事は進まず、復興住宅への入居はまだまだです。生活環境の変化には、時間がかかると考えられます。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	今年度上半期は、あまり進歩がなかったように思う。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	身近に被災した人がいないため。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	前回調査で回答した通り、被災前とほぼ同じ位まで回復したと感じます。私の住んでいる隣町では、水産庁と新たな取り組みを試みているようです。漁業者の挑戦が被災地域の起爆剤となり、六次産業の取り組みが前進する事を期待します。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	水産業は活気もあり、回復しているように思う。農業も田んぼの整備も進み、回復していると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	・「復興特需」とも言える状況があり、建設業中心に経済活動は活発であるが、同業者からは来年以降の見通しが立たないとの声もある。 ・復旧は進んでいるが、復興を望む声が多い。復興は、当事者の意識改革が必要である。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	農林水産業の早期再生は図られていると思う。事業所の生産体制の構築、基盤整備もほぼ完了しており、地域経済は徐々にではあるが回復していると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	水産業は被災前の水準に戻った。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	水産業は回復したと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	自宅再建してそれぞれ落ち着いて頑張っているようです。
回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災農地の整備も終り、作付可能となった。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	多額の借金をかかえている方も多く、事業経営が大変な方もいらっしゃいますので、その点を考慮していただくといいと思います。例えば、5年返済を10年くらいまで支払いを延ばしてくれるとか。私の場合、漁船の支払いは5年になっている。これを10年返済できるようにとか。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興工事等に伴う人口増によって飲食店や宿泊業は潤っている。しかし、復興が進むにつれて工事が少なくなってきた、建設業は少しずつ減退しているように思える。現在は工事関係などで、人が多く来ているが、工事がひと段落した後が非常に怖くなると思う。例えば、宿泊関係では、震災前より多くの宿泊可能人数が増えたが、震災前のこの地域は県中部と比べて交流人口が圧倒的に少ない、寂れた街でした。基盤整備や補助金により、大きな施設を作ったが、今後は維持するのが困難になればよいと思う。沿岸の中心産業である水産業は、加工施設を震災前より充実させたが、世界的な水産資源不足、人口減による人手不足、加工製品の安値競争のため、先行きは決して明るくはない。被災地のどこの自治体も交流人口の拡大をうたっているが、具体的な拡大策を打ち出しているところは、殆どない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	各地にかき小屋ができるなどしているから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産関係はだいぶ活気づいてきたように思う。地域の水産加工場や水産養殖なども活気づいているようだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	・作物が震災前のように店に出回っている。 ・仮設店舗から本設店舗になった店が出てきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	津波で浸水した地区の道路工事のため遠回りをして通勤通学している区域があり、不便を感じている。しかし不便を感じるものの道路の区画整理が進んでいるものと信じている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	震災からの回復という点では、地域経済は回復していると思います。しかし、人口の減少・若年層の流出という点では厳しいと思われます。今後の久慈市の将来をどのように考えていったらよいのか、若い人が地域に残って活躍するためには、何が必要であるかを様々な面から考えていく必要があると思っています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・管内求人が多い（配管関係は多いそうだ） ・いろいろなイベントを通じて、人集めを行っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	三陸沿岸道路の工事が着々と進んでおり、沿岸市町村のつながりが期待される。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	三陸沿岸道路の建設が急ピッチで進められており、完成に伴い交通手段が大幅に改善される。これに伴う企業の誘致や雇用状況の改善及び若年層の地元定着等経済的波及効果は大きい。早期の開通を望んでいる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	グループ補助金を活用し、本設した事業所が増加している。今後80事業所が本設を計画している。ただし土地の造成の遅れが目立ち、再建も遅れている（業者が足りないのではないか）。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	一部を除いて震災前の水準に戻っていない。宮古の場合、魚菜市场から抜けた商店も目立つ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	企業の労働力不足が続いている。来春卒業予定の高卒者確保にかなり意欲的。高卒求人受付初日の件数40件（昨年31件） 求人数101人（昨年84人） これに対し、4月10日現在の地元就職希望は61人と少ない状況。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	震災前の生活には及ばないが、活気がでてきているし実感出来るくらいまで回復していると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	養殖施設は災害前と同じ位に回復したが、海産物の値段は災害前より安くなっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	生産体制や基盤整備は土地造成を除きほぼ終わりつつあるが、生産が軌道にのるかどうかはまだまだ遠いと思うし、復興により勘違いして基盤整備をしたところは苦しいと思う。身の丈にあった整備をした人はこれから、人材等があるところは安定してくると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	基盤整備（ほ場整備）事業が順調に進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興特需とは思われるが、回復は進んでいると思う。しかしながら、農業・水産業の担い手が減少し、数年後の一次産業従事者不足が懸念される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	建設関係を中心に忙しい状況が続いており、求人も多い様です。食料品店、日用雑貨店などは買い物をする方で活気に満ちている様に思える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	浅海養殖業の復旧復興は、安定的に復興した。磯漁業やウニ・鮑等採捕等口開け物の漁業が好調となった。しかし、震災後水産業従事者の後継者不足が問題となっている。商工業にあっては、集約された商業施設の建設が行われており、商店街の活気が期待されている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業関連については復興したと思われまます。商店街については、少しずつではありますが復興が見えてきました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	高い補助率で、水産関係等は整備が進んでいる様に見える。震災前から楽ではなかったと思うが、後は事業者の頑張り次第だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農業（田）はほ場整備により働きやすくなりました。生産も増えました。水産業も通常どおりと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	当地の主産業の一次産業が、高齢化による自滅を考えなければ安定しつつあるように見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	被災された地区にも家が再建されて街並みも見え始めたが、商店の再建が遅い様に見られ、人々の流れが見うけられない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	メジャーな企業等の進出が震災前より目立っている反面、地元の商店等はまだまだの感じがします。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	港の整備が進み、活気があるように見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	水産施設の整備を進めてほしい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	だいぶ回復してきているものの、どの産業でも後継者のいない所は多くあり、経済の縮小化が一気に進むのではないかと危惧している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	地域内で格差が認められ、全体の回復度がわからない。回復に向け行政も民間も務めているが、結果はまだ先にならないと見えてこないのかもしれない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	人口の流失により、経済の回復はなかなか大変ではないかと思う。大型店は店舗を拡大しているが、小売店はお店をどこに開いたらよいか、大変な状況だと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	建設業や水産加工業などは進んでいるが、小売店は仮設で営業しているところがほとんどである。人口も減っており、経済の回復については心配である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	○漁業関係者は、復旧してもとの職についた方がいる。農業は原発の風評被害がきかれなくなり出荷制限が解除された。 △震災後数年続いた「復興特需」は5年が経ち、熊本が新たな被災地となったので、「被災地応援」の意味がなくなり売れなくなっていると聞く。新たなコラボやコンセプトで「被災地」を売りにしない品を売り始めているようだが…。まずは、地元にいる自分達が「地産地消」に取り組み、県内産・地元産に誇りをもつことから始めたらよいと思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	もともとにぎわいのある商店街があった訳でもなかったが、今も変わらずのように思える。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住宅や道路は復興しましたが、町の店舗はまだ再建されていないので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	人口の流出は、地域経済への影響は大きい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	山田町を訪れた。かさ上げされた土地に建設中のマンション風住宅や商店等を見た。ずいぶんと町並みが変わると実感できた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	交通面で道路の整備が進み、街の活気が感じられるのですが、中小店舗、仮設店舗の回復には限界があるのでしょうか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	いろいろな施設など完成し、整備なども進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・地域内の賃貸住宅の家賃高騰や、住宅取得費の高騰等が人口流入の妨げとなり、消費行動は停滞している感じがある。 ・水産業者では、さんまやサバの不漁が大きな影響を与えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	ウニ、アワビの不漁は震災前と同水準に回復したと聞いている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	雇用面では多種の求人が出ているが、求職者不足が現状となっている。若者が安定して働ける職場が増えることで、若者が地域定着し経済の活性化にもなると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	震災前に比べても、又、この6ヶ月を見ても実感できるほどの変化を感じない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・水産関係の製造、加工場建設が進み、事業実施し社員の雇用も進んでいる。 ・漁業関係の生産物単価は震災以前の単価に戻ってきている。 ・漁業に従事する人は、依然不足している。わかめ、ホタテ、カキ養殖漁業者は、震災前の30%にしかっていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	鮭の不漁が大きかった。ワカメ養殖なども、なるべく人手をかけない様な作業を選択するようになってきているので、水揚高も伸びない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	それほど変化した様に思われない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	産業間の格差が顕著のように感じる。建築土木関連の工事が落ち着いた時を考えると、むしろ厳しいのではないかと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	事業における費用も、生活における費用も高く、今の時点ではどこに行くにも自動車等で、長距離移動を強いられる状態である事からしても、安定的に収入が回復していない為、費用を大幅に削っている方法でしのいでいると思う。消耗戦といっても良い程、不安定な状態であると聞くので、まだまだ回復したとは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	経済の歩みは非常に遅いと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	復興関係は好調だと思うが、あと何年かで終わると思うと不安です。そのため仮設飲食店から本設への移行もためらう人々もいます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	初めは町中心部の仮設店舗で営業しましたが、その時はお客さんもありましたが、嵩上げが必要な土地なので、全店舗が公営住宅工事現場の前の仮設店舗に移転し、今の営業となりました。大きな音、大きな車が往来する中、お客さんの足が遠のいて行きました。出張販売、お客さんの送迎と店によって色々試み皆さんと協力しながら頑張っている様です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	生産業である水産及び付随加工業は順調に回復していますが、一般小売商業、地域の回復は後退しているように思われます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・交通手段はバスのみ。5月のダイヤ改正により、6:30、7:30、9:30後町に出るバスは、13:09までない。買い物等、週1回にまとめてするようになった。必要でない物はもちろん、趣味の物など以前と比べ買わなくなった。住宅再建のため節約の日々を送っている。 ・水産関係の加工場は次々と建設・稼働していて、一見活気づいているようですが、内情はわからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	落ち着いたと感じ始め、地域経済はむしろ下降気味へと移行していると感じます。店舗閉めなどが目立って来ていると感じます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	地域経済の回復については、あまり目に見えないが順調である部分と、回復には程遠いという様相の方も見られ格差を感じる。市の中心部である、魚菜市場が閉鎖する等とうわさが流れているが、本当の話であるならば、回復でなくむしろ後退している部分もあるのではと感じる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	経済のことについては正直判りかねます。今までの調査でも記入させていただきましたが、特定の業種においてはかなり潤っているように見えますが、全体を見るとそうでもない。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	震災直後は復興商店街など行く人はたくさんいたが、5年もたつとあまり行かなくなったのではと感じる。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	魚市場の建設場所を初めて見ました。大きな市場になりそうで期待もありますが、大切なのは大きさではなく運営方法だと思うので、支援や助言などで活気のある市場になって欲しいと思います。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	少しずつ震災の時から続く支援が打ち切られたりしてきているようだ。それを頼りにしているわけではないだろうが、やはり影響はあると思う。まだ道路工事の作業員の方などもいらっしゃるから少しいいが、皆さんがいなくなったとき、どうなるんだろうと店（飲食店など）をみていて思う。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	グループ補助金などの支援を受けた方々、土木・建築業関係は、経営が順調に見受けられる。一方、個人事業者、特に小売業の場合、多くの方が厳しい状況で、経営状況については大きな片寄りが見られる。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	安渡地区には、魚の加工工場の大きな建物が建ち並び、工事等も進み、回復しているように感じるが、地元の商店街が活気がないように感じる。自営業者の高齢化、後継者問題等地域の商工会に期待したい。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	震災後、農業（稲作）、水産業と生産できるようになり回復しているようにも感じる。仮店での商業、飲食店の営業等行われているが、高台に商業スペースができる予定とはいってもまだ先のことであり、仮店は5年までというしばらくもあるときいた。地元で復興しようとする人達への支援をお願いしたい（金銭面や制度面）。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	被災前と比べるとまだまだではないか。特に商店・飲食は本設店舗で営業しているところが殆どない。大槌町の主要産業である水産加工は、町外、県外資本により工場が稼働してきているが、地元小規模事業者はこれからである。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設店舗の営業が多く、あまり進展がない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	平成28年1月調査と同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	当市は一次産業が基幹産業であり、特に漁業が大きなウェイトを占めており、前項で述べた通り労働力不足で基幹産業の漁業振興が厳しい状況である。対策として考えられるのは、外国人研修生・技能実習生の受け入れを推進すべきであるが、現在岩手県には外国人を受入れる窓口がなく、早期に対応すべきと思う。法律では外国人を受入れる枠はカキ・ホタテの2種類のみとなっており、本県はワカメ養殖も盛んであり、ワカメ養殖は加工品と見なされ、受け入れは可能である様だが、カキ・ホタテについては県魚連内に地域管理委員会という受け入組織が必要であり、早期の対応が必要と思う。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	経済が回復したと実感しない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	ここ半年でいえば、特に目立った進み具合は感じられないが、地域経済としては、震災以前に近い状況まで来ているのではないかと感じる。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	全く進展はございません。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	自分の目から見ると被災前も被災後も、地域経済についての変化を感じないため。
無回答	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	林業の事になると思いますが、オリンピック工事で木材を使うようですが、気仙杉材の使用をPRの方をお願いしたく思います。PRの不足かと思えます。議員様方。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	すべての防災設備、施設が完成した。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	・防潮堤が以前よりかなり高く作られたため。 ・保育所や学校で定期的に避難訓練を行っており、実際に高い山にものぼっている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤や道路などの工事が進んでいると感じる。また、かさ上げ工事も進んでいる。目に見えて工事状況が分かってきているので、進んでいると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	勤務校の目の前の防潮堤が、どんどん変化している様子から。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	防潮堤工事、公園、三陸道などが着々と進んでいるのがわかるため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防波堤の建設も進んでいるし、嵩上げも進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	土地のかさ上げ工事が着々と進んでいるように見受けられる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	51歳台	沿岸南部	女	ようやく、防波堤・防潮堤の再建が見られるようになったので、やや進んでいるように感じます。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	津波に対する整備は、順調に進んでいると思います。熊本での地震・大雨による土砂災害など、いつどのような形で災害が発生するかわかりません。日々の備え、心の準備、地域のつながりなど、ハード面での整備だけに頼るのではなく、ソフト面での備えをしっかりとしていく必要があります。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の整備が、目に見えて進んでいると感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤のかさ上げ工事や道路工事は順調に進んでいる。一方、高齢化が進んでおり住民の災害に対する意識変化は時間とともに顕著に表れてきている。行政として住民の安全確保のためいろいろな対策を講じているが、時間とともに防災・減災に対する意識が減少してきた感じがする。前述のとおり、前回と同様に感じている。一方で、要支援者等弱者の把握等調査は進んでいるように感じているが、その情報がどう使われ活かされるのか、あるいはどのように使用しているのか見えてこない。先の熊本地震でも弱者の救済が問題視された。地域全体で情報をどう利用していくか等横の連携の点で不安が残る。検討資料はある。ことが起きてから対策を考えるようでは遅すぎる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	国道45号線のダンプカーも数年前と比較すると、台数も減り工事完成区間が増えてきたのかと感じます。地元の運送会社の大型車両が会社敷地内に毎日数台見受けられるようになり、会社経営者から「仕事がなくなるのが、少し早過ぎた」と聞いた事が有ります。また、自動車専用道路では地権者と用地買収の折り合いが付かず、3年凍結との噂も耳にしました。熊本の地震による復興もこれか本格的に始まれば、国の予算にも限りがある事から、自動車専用道路の全線開通が予想以上に長引くのではと懸念しています。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	インフラや、居住、消費等確実に復旧しているが、万全という事はなく、防潮堤等に依存しない防災意識が必要である。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事等安全対策は進んでいる。しかし、岩手が有する自然の景観が損なわれることは残念であり、観光の妨げとなる危惧もある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	八木の防潮堤工事の進捗状況を見て、そう感じている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	目の前の防潮堤工事が進んでいるが、まだ形をなしていない。一方で大船渡側一部出来ているところがあり、その高さに圧倒される。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	防潮堤などの建設は目に見えて進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事が着実に進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防波堤の建設が始まった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	堤防工事がなかなか進まない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の災害復旧が日々進んでいる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	女	5年たってもまだ防潮堤は半分位しか出来ていない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んでいると思うが、完成するまではまだ時間がかかりそう。二線堤の工事も嵩上工事は終わったが、法面工事と舗装工事は今からです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	各自自治体ごとに震災復興工事が進んでおり、災害に強いまちづくりのため進捗は見られるが、当市にとっては新たなまちづくりのコンパクトシティーの構想に伴い工事は進められているが、震災から5年も経過し当初の思いと現在の気持ちの持ち方が変化しており、まちづくり計画に支障がでなければ良いと思っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災地防潮堤工事ははっきりした形を現し始めた。巨大な万里の長城を思わせるようである。海の見えない防潮堤に異様さを感じる。被災地買い上げ地区は、産業関係構造物に生まれ変わろうとしているが、道路の殆どは埋め立てられないので、嵩上げ用地が高くなり、凸凹の多い街並みに変容しようとしている。良いのか悪いのかわからない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	織笠・旧山田地区の防潮堤の工事は、今盛んに工事しています。織笠地区の高潮対策の水門工事も始まりました。完成すると海が見えなくなるくらい高く、何もかも莫大な経費だと思いと感謝にたえません。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	町中心部の大型公営住宅の外側の覆いが外され内装の最終工事かと思います。この公営住宅には大半が入居希望しています。残っている方々は、被災した自分の土地に店舗や自宅を再建するのですが、嵩上げをするのでそれが終わってからなのでまだ仮設生活が続きます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の整備は、ようやく目に見えて来ましたが、柵の中の雑穀が6合ほどに減ってしまいました。やはり5年の歳月は長過ぎたようです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	・現場（防潮堤）を見る機会がないのでわからない。 ・消防署や病院が建設され、一安心している。 ・防災無線機も貸与され、家の中に居て放送（情報）が良く聞こえるようになった。室内アンテナでは聞こえない地区なので、外アンテナ設置にお金がかかった。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の建設もだいぶ進み土地のかさ上げも進んでいるが、ソフト面的にはどうかと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤工事はある程度進んできているようだが、嵩上げされた土地にまだそれほどの変化（建物、道路等の建設）がみられない気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の建設が進んでいると思う。道路も広く作られようとしている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	・道路や防潮堤の工事は進んでいるように見えます。 ・地震や豪雨など予期せぬ災害が全国で発生しています。被害に遭わないようにするための情報発信、避難先の周知など日頃からの準備が必要です。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	水門の建設工事、堤防の工事が進み、目に見えて災害に強いまちづくりが進んできているんだと思うが、構造物に頼りきらない住民の防災意識向上のための訓練などはしっかりと続けていくべきだし、多くの人に参加してもらおうとなくみ作りも必要と思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	漁村（漁港）ごとにある防潮堤の復旧が進んでおり、完成した箇所もある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	津波防災計画に沿って進んでおり、もう少しで完成するのではないかな。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事は少しずつ進んでいます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の工事は着実に進んでいる。又、防災ビルを兼ねた公民館等の建物も二ヶ所で工事が始まり、区画整理事業と並行して、避難路の整備も進みつつある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤など整備されて来ているが、本当に人命を守るか不安である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	盛土が進み、新しい道路や橋も完成してきているが、防潮堤はまだこれからの段階である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	○防潮堤や106号45号線等の道路工事が進められている。 △工期の遅れも耳にする。道路工事は見えないところで進んでいるようなので、どんな所を通り、いつからどこを通れるのか具体的な情報を知りたい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	「災害に強い」とは防災もあれば、災害の対処もあれば災害後のこともある。どの点をとっても「安心」と言えるほどのすすみ具合は感じない。災害も様々であるがゆえにそう思うのかもしれない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	沿岸道路の整備が進み、避難・支援の体制は整ったと感じます。浸水区域内の避難所への誘導表示はもっと多くても良いと感じます。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	・磯鶏-津軽石間の工事の進捗状況 ・山田線の門馬の事故処理（宮古-釜石間を含め、早く復旧できれば良いと思う） ・金浜-八木沢間の道路工事
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	都市公園（盛土）の工事は目にみえて進んでいると思う。防潮堤の工事はあまり進んでいるように見えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	ハード面の整備も変化は出てきているが、それと同時に平地にも住宅が出来ている光景をみると、このままで良いのか疑問が出てくる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・現在、嵩上げ工事が進行中であるが、どの程度の効果があるのか判断できない。 ・一部の住民は海が見えるだけで、怖いと思っている人もいるようである。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	沿岸の街は「海とともに暮らす」ことが大切であると思う。私見であるが、防潮堤の整備は、従来の高さ程度にとどめ、高台に続く避難道路を整備した方がいいと思う。後世に「何でこんな無駄に広い道路があるの」と言われるくらい、何本か高台に通せばよいのでは。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が未完成、未着手の地域があり危険な状態のまま5年が経過した。東京オリンピック開催の影響も大きいと感じる。憤りを感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	未完成な所もありまだ不十分と感じる。大震災と同規模のものに耐えられるのか不確か。であれば、避難をスムーズにできる街づくりを優先すべきと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	港湾と道路の整備が、目にみえて進んでいると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備は進んでいると感じられるが、完成まではあと1年から2年かかる！
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の取り壊しを今している。工事業者が違うので進み方が違う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	各工事が始まってはいるが、なかなか進んでいかない。仮道路や規制が多く、とても不便を感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤は松原地区はほぼできるし、河口と米崎地区・小友地区は2年後位でできると思う。現在それぞれの地区で「にげ地図」など、避難に対して住民どおしで話しあいができているので、災害にそなえる今の状況では進んでいると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事は見に行った事がないので、進み具合は分かりません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	今までにない様な高い防潮堤も出来つつある様子を見ると、災害に強い安全なまちづくりは前進しているかもしれない。しかし災害は津波だけではなく、たとえば豪雨による崖崩れ等身のまわりには危険がたくさんある事を考えると、これで安全と言い切ることはなかなかむずかしいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤は大分出来てきているが、避難路等の表示が全く乏しい。あと暫く大きな津波が来ないと油断しているのではないかな。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	目に見えて変化を感じます。達成にはまだですが、着実に進んでいると思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	工事は至る所で進んでいるものの、自分の中では、復興工事の終了＝達成と思っているので、まだまだ道半ばかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	工事は確実に進んでいるとは思いますが、道路状況が悪いと思います。海沿いの道路で道が変わったり、渋滞しては逃げられないと感じます。一本迂回路でもあれば良いと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の整備が始まったばかり。ただ防潮堤の整備により、海が見えなくなるのは複雑な気持ちだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤の整備等の他に、ソフト事業も同時に活発におこなってほしい。時間が経つにつれ防災意識の向上が求められる。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	陸前高田市には被災した公舎で津波浸水区域で授業を行っている小学校が2校ある。1校は高速道路建設に伴い高台に移転する予定である。もう1校は常に不安の中で生活をしている。子ども達はちょっとした地震でも顔色が変わり、不安を感じ机の下に避難する。避難訓練も1次避難場所（高台）、2次避難場所（長時間避難可能な場所）となっており、2次避難場所までは子どもの足で30分（低学年）はかかる。未来を担う子ども達である。安心して学習して生活出来る安全な場所で学べるようにしてほしい。せめて近くの高台に児童が一晩泊まれるくらいの避難所となる（コミセンまたは公民館）場所があることを望む。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・防潮堤建設計画により、6ヶ月程度遅れていると感じられ、今現在工事の状況は進んでいる様に見られない。 ・防集高台移転は、盛土工事は進んでいる場所によっては、家が建っている所もあるが、進んでいない所は立木を切ったままの所も見られる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・高台の道路、避難道路の整備は目に見えて進んでいる。 ・防潮堤の工事は、全く進んでいない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水門工事の遅れが見える。防災に関する市町村の広報による周知記事の減少。防災訓練の未実施。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の工事はあまり進んでいない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤・盛土・区画整理もまだまだ終わらない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	こちらも遅々として進んでいないと思います。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	田老地区中心地域の防潮堤は、完全2重構造の計画で進められているが、海側の第一線堤は、津波で破壊された旧防潮堤の撤去工事が進められ、並行して田代川の水門建設工事も進められており、併せて、コンクリート製の垂直式の防潮堤部分も工事が進められている。しかしながら、防潮堤の整備計画全体から見れば、未だ一部分でしかない。また、避難方策については、避難場所や避難所の位置が示されただけで、避難を想定した訓練や、避難所の開設や運営について実践的な取組みは今後に残された課題である。いずれも、計画や目標に向かって進行していることは間違いないが、「進んでいる」と判断するには至らない状況である。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高田松原跡地の防潮堤は一部は出来てきました。気仙川の水門工事も半分は出来てきました。5年が過ぎて半分のようなのでね。高台も未完成、嵩上げも未完成です。岩が堅いからとの事。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	まだ防潮堤が完成していないので、安全とは言えません。私たちの町にあった小中学校は津波で流されましたが、今は高台に建設中です。来年の春に出来るらしいです。あと、もう少しです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	安心・安全な暮らしに必要な防潮堤や水門の工事はまだ進んでいません。回復が実感出来る町には、まだ時間がかかりそうです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	低い土地から、高台や山側に行く道路が複数廃止になり、迂回しなければ避難することができない街が完成に近づいている。これは津波のシュミレーションによって、まちづくりが進んでいるのも一つの大きな原因と思われる。5年前の震災で如何に人工の構造物が脆く、弱いものなのかを、何故学習できないのであろうか。海の近くにおいて、地震が起きたら津波の襲来を予想してすぐに高台へ逃げる。この当たり前の行動が浸水地の道路計画によって妨げられているのです。確かにシュミレーションどおりの津波がくれば被害は殆ど無いと思われる。しかし、熊本の震災を見ても判るとおり、災害のシュミレーションなど当てにならない。「高台に一刻も早く避難する」このことを私達は5年前の震災で学びました。現在、浸水地にはショッピングセンターやホームセンター、ホテルが開業し、多くの人で賑わっています。これから飲食店や商店街が完成すれば昼夜ますます賑わうと思います。この浸水地から高台に逃げる道を塞いで、防災を語ることはできるのでしょうか。確かに、迂回すれば高台に避難することはできます。ただ、5年前の震災では一瞬の判断の過ちで命をなくした方も少なくありません。目の前に高台があるのに直接行けない。とても残念なことです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	私、以外の方々も、防潮堤がどの位できあがっているかは、知らない方が多いのでは。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	水門が壊れたまま。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	(1) 防潮堤工事中です。その他できあがり、安全に使用しております。 (2) 丘の崖崩れの危険がありますので、防潮堤の高さはいままでどおりで、そのかわり崖崩れ対策を市へお願いしておきました。まだ工事着手していません。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	ハード面は着々と進んでいるようだが、住民の安全や防災に関する意識は低下しているのではないかと考える。熊本の震災もどこか他人事である。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・嵩上げ地は部分的にはあるが、市街地形成に向けて工事が進んで来ているようであるが、実際に家が有る場所の従前からの水路等インフラがなく、小さい部分で高台造成地からの雨水等の量がキャパシティを越えてあふれている事が多いので、その事を後回しにして進めるとすれば、むしろ安全度が低下していると言わざるを得ないと思う。 ・防潮堤はつながっていないので津波への対応の点は、現時点ではまだまだであると思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備は進んでいる。しかし、全域の完成まではまだまだ時間がかかる。三陸の北部、北海道沖での津波があと5年は起こらないでほしい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の整備が進まなければ、安心して生活しているとは言えない。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災の教訓として得たことを活かし、住民の安全確保の為の整備事業ならわかるが…、最近ではゼネコン等の利益事業に近いのではないかと疑問を抱いている方々がいると話を聞く。本当の意味で、災害に強い安全な町づくりを目指してもらえればいいかな…

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成28年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

平成28年8月29日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1